

ご町内のみなさん。日本共産党です。この場をお借りして、いま国会で大問題になっている「戦争法案」について日本共産党の考えを訴えさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

「戦争法案」は、日本が攻撃されていなくても、自衛隊が海外でアメリカと肩を並べて戦争することを可能にする憲法違反の法案です。国民の6割が反対の声をあげているのに、安倍内閣と自民・公明両党は衆議院で強行採決し、いま参議院で審議が進められています。

「戦争法案」が成立すれば、その時々政府の判断で、自衛隊が戦場に送りこまれ、アメリカと一体となった武力行使を担うこととなります。安倍政権は「専守防衛」というたてまえもかなぐり捨てて、自衛隊を「殺し殺される軍隊」へと変えてしまおうとしています。

憲法9条をふみにじる「戦争法案」の強行成立を許さないために、党派をこえてご一緒に反対の声をあげましょう。

8月11日に日本共産党の小池晃参議院議員が、参議院特別委員会で明らかにした自衛隊の内部文書が、安倍政権をゆるがせています。

この内部文書は5月末頃につくられ、「戦争法案」が成立した後の自衛隊の部隊編成や日米合同軍事演習などの計画が詳しく書かれ、南スーダンに派遣されている国連平和維持活動については、来年3月から「かけつけ警護」を実施することも盛り込まれていました。

さらにこの文書は、自衛隊のことを「軍」と表記し、自衛隊と米軍との共同司令部である「軍軍間調整所」を設置することも書かれています。事実上自衛隊が米軍の指揮下に入ることを示すものであり、明らかな憲法違反です。

小池議員は「自衛隊はいつから『軍』になったのか」「戦前の軍部の独走と同じだ。こんなことは絶対に認められない」と追及しました。

政府は、この内部文書の存在をしぶしぶ認めましたが、法案が成立する前に分析や研究をおこなうことは当然のことだと開き直っています。

しかし、内部文書の内容は「分析・研究」を通り越した法案の具体化そのものです。しかも法案にも書かれていず、これまで国会で一切説明されていないことも含まれています。だからこそ政府は、この文書を国民に隠してきたのではないのでしょうか。

「戦争法案」は憲法9条を全面的に破壊する内容です。その法案の成立を前提とした運用計画の検討は、憲法破壊の先取りといわなければなりません。日米同盟を憲法の上におき、国民に事実を隠し、国民の声を無視して、海外で戦争する国づくりをすすめる安倍政権の暴走を許してはなりません。

ご町内のみなさん。安倍政権は参議院でも強行採決をねらっています。しかし、「戦争法案とおすな」の国民の声は日に日に大きくなっています。1年後には参議院選挙があります。自民党や公明党の参議院議員が「強行採決したら来年の選挙で負けるかも知れない」と思うほど、もっともっと反対の声をひろげようではありませんか。

平和を願う心は国民共通のもので、政党支持の違いをこえて力をあわせ、「戦争法案」をなんとしても阻止しましょう。8月30日(日)午後4時から扇町公園におきまして「おおさか大集会」がひらかれます。ぜひご参加下さい。

最後に、日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」は、お年寄りから子どもさんまで楽しめ、国会での論戦をはじめ、政治や暮らしのことがよくわかる新聞です。この機会に、日本共産党の「しんぶん赤旗」をお読みいただきますようご案内させていただきます。いっそうのご支援をお願いしまして、この場での訴えを終わらせていただきます。(約5～6分)